



環の町芳賀 第110回

不法投棄物の処理にもお金がかかります

地上波デジタル放送開始を来年7月に控え、テレビの買い替えが進んでいるようです。

残念なことです。それに比例するように、テレビの不法投棄も増加傾向にあり、平成21年度で66件、22年度に入ってから10件の不法投棄がありました。

不用になったテレビの処理にはリサイクル料金がかかります。主要メーカーのブラウン管テレビで、15型までが1,785円、16型以上で2,835円は最低必要です。不法投棄物として回収したテレビも例外ではありません。誰かの身勝手に町内に捨てられたテレビの処理に、町予算からリサイクル料金を支払っています。

現在13人の監視員が各地区をパトロールし、不法投棄の防止に努めています。人気がなく管理されていない山林や空き地に、夜間に捨てられるケースも多く、対応に苦慮しています。

雑草や樹木の管理を定期的に行い、捨てづらい環境をつくるのが防止策の1つです。皆様のご協力をお願いいたします。

■環境対策課環境対策係 【☎028(677)6041】

町長室から

今年度も自治会長さんのご協力を得て、13大字と工業団地連絡協議会との地区座談会を、今月から9月にかけて予定しています。

日ごろ感じていること、不満に思っていること、町政の課題、要望などを地域の皆さんと話し合いたいと思います。これからは、町と町民・地元企業などが手を携え、各々が持っている力を活かし、自らの町に誇りと郷土愛に満ちた「まちづくり」を推進することが必要です。

町政は納税者の納めた税金で運営されています。この税金は、法律で強制的に徴収されます。民間会社が品物を売り、サービスを提供して利益を得るのとは根本的に違います。税金によって納税者に提供する行政サービスは、民間会社が購買者に提供するサービスとは根本的に違うものなのです。納税者には税金を払うか払わないかの選択の余地はありません。購買者にはモノを買うか買わないかの選択肢があります。

経営者は、人々が求めているものは何か、ニーズに応える

芳賀町長
豊田征夫



「これからの地域主権」と題するディスカッションで、朝日新聞編集委員の坪井ゆづる氏が「誰かが、どこかで、自分に都合の良いように決めるよう願っている風潮があり、無関心層が多い」と話されていました。

町民の皆さまには、地域の座談会への積極的な参加と活発な発言をお願いいたします。

工業団地から、こんにちは

芳賀工業団地連絡協議会に登録している企業を紹介します。

クミ化成株式会社 開発センター

クミ化成(株)は、大正7年に工業用ゴム製品の販売を始め、昭和23年に(株)久美商會を設立、昭和48年に現在の社名に商号変更しました。国内外に工場や事業所を展開し、芳賀工業団地には平成16年に開発センターが進出しました。

クミ化成(株)では、ホンダ車を中心とした自動車やO.A・通信機器などの樹脂・ゴム製品の製造、販売を行っています。

その中で開発センターは、常に企業の求める新しい商品提案を進めています。特に樹脂成形技術は研究の核で、のりやシールを用いない直接フアブリック(織物)と樹脂を一体成形する加飾技術は、生産過程が環境に優しく、自動車メーカーの世界戦略車に採用されています。また、自動車の内装の居住性や快適性、乗った人にステータスや高級感を感じさせるため、



開発センター所長
江成弘行さん

会社名 クミ化成株式会社 開発センター
住所 芳賀町芳賀台130-1
電話番号 028(687)0765
本社住所 東京都千代田区富士見 2-14-13 朝日観光ビル
ホームページアドレス <http://www.kumi.co.jp/>

感性性能を高める技術にも力を注いでいます。

お話を伺った江成所長は「社員に英語力を身に付けさせたり、関連会社との盛んな人事交流など、グローバルで元氣な職場づくりに取り組んでいます。これからも、国内外の関連会社と連携し、日本では日本の、世界では世界のお客様に喜んでいただける商品を開発してまいります」と話してくださいました。



集まれ! 趣味仲間

町内の生涯学習サークルの活動を紹介します。



吟詠会(詩吟)

■生涯学習センター【☎028(677)0306】

○活動日 毎月第2・4木曜日
13:30~16:00

○活動場所 町民会館

皆さんこんにちは!! 私たちの会は「吟詠会(詩吟)」といひます。

歴史は古く、発会は昭和43年で40年以上が経っています。

詩吟とは、その昔、中国から入って来た漢詩に譜を付けて歌ったものが現在に至ったものです。鞭声(べんせい)粛(しゆく)粛(しゆく)や、富士山など、日本の歴史を回想しながら大きな声で詠じると、とても気分が良いもので、ストレス解消にもなっています。

少しでも興味のある方は、ぜひ教室の方へ遊びに来てください。お待ちしております。そして、町民祭や生涯学習の発表会で一緒に詠みましょう!! (文・小林幸枝)

※写真は宇都宮本部での発表会